

15 自由筆記

この章ではアンケートの最後に設けた自由筆記欄に寄せられた意見、提案等を示します。実際に現場で働かれている看護師の意見でありますので、大いに参考になります。できる限り内容の近いもの同士をまとめて掲載しましたが、さまざまな意見が出されているため、読みづらい点もあると思いますが、ご了承ください。

<p>・各地域のゴミ処理場確認のもと、新聞紙ビニールに包み処方してよいもの。出された医療機関へ返すものとしている ・各地域の処理施設での認識が低いのが気になる。</p>
<p>・主に点滴の物品かと思いますが家族が分別したりとかでケガをするより、そのままかけてもらった方が安心です。そうでなければビニール袋に入れて下さるとたすかります。後はステーションに帰って分別します。 ・病院さんが往診とかに来られ、点滴とかはそちらの方でされているが、私どもが訪問した時に使った後の物がそのままあればそのままにしておくわけにもいかず、持って帰りますねとって持って帰ります。 ・主治医の病院が回収となっておりますが、それだけ持ってわざわざ病院に行くのも・・・</p>
<p>・訪問看護ステーションは開業医の指示を受けて点滴などを実施するが、医療廃棄物を主治医のクリニックに持参するとき当然のようにすぐひきとって下さるところと、日赤で処分してくれないの？と不満顔をされるクリニックがある。開業医ドクターに意識を変えて欲しい。 ・本院の体制に沿い回収マニュアル遵守を行っている。情報が入るのでありがたいと思う。独立したステーションだったらマニュアル作成などとてもゆとりはなかったと思う。</p>
<p>・利用者によって主治医が違うため、その主治医が病院が診療所かなどによっても扱いが違う ・訪問看護事務所が廃棄物を受けおうのが本来の事なのか疑問に思いながら持ち帰る事が多い。本来は指示書をだしている医療機関が回収方法を指導し、回収すべきではないかと考える。</p>
<p>1. 病院より支給される針等に関しては連携がとれてきている。2. 排泄等に関わるパック・チップ類は市のごみ捨て分類で排出している。</p>
<p>① 診する医師が点滴ルート（針のないところ）や尿道カテーテル等を患者宅でふつうのものと同様にゴミとして出していると話す場合があつて、修正に困る。全体に統一した指導が文書で欲しい。②患者宅に使用する注射針、注射容器を常備することも多いので保管・管理はとても重要だと思う。（清潔滅菌保管。他の目的乱用にならないように等）</p>
<p>① 業医の先生で患者さんの針を受け取ってもらえない所があり、当院の母体病院で処理している。②経済的な問題もあるが、利用者宅で行った点滴、注射の針を抜く携帯用の針抜きボックスを購入したいと思いますが、病院にはあります</p>

<p>が、我々のステーションでは揃えてもらえません。今は安全の為に検討してもらいたいと思います。</p>
<p>① 自治体にて処理法が違ってきます（以前調べたことあり）広報の徹底にも差があり。②当 ST では処理の必要なケアがある方には事前に扱い等についてのリーフレットをお渡しして協力いただいています。</p>
<p>①収納容器について、ふたするとそのまま廃棄のため場所に工夫 ②在宅のため毎日の交換でないため、2週に1回 月1回のポリ容器契約にて3ヶ月準備して順次利用している</p>
<p>① 滴や針等、Drの処方にて訪問時には訪問先にあります処置等を行い廃棄物となったものは処方したDrのところで処理していただいております。②又、当 ST で用意したものは事務所に持ち帰り、業者へ委託処理してもらいますが、①の状況がほとんどなので、持ち帰ることはほとんどありません</p>
<p>①分別ビニール袋が必要な様に、医療廃棄物収納容器についても、専用のものが医療機関よりだされてはと思う。②在宅医療廃棄物の処理方法。特に針等に関する取り扱いなど指導の徹底を回収の責任所在の明確化</p>
<p>2008年日本医師会より在宅医療廃棄物の取り扱いガイドがでており、参考になっているが、自治体をはじめ、各医療機関もまだ完全に理解されていないように感じる</p>
<p>C型肝炎訴訟もあり心配です。指導を受けたいと思います。ステーション個別ではなく「こうなさい」という法律があればスムーズだと思います。</p>
<p>DIV補液パックは、プラゴミとして全市町村とも統一できないかどうか</p>
<p>H17年9月に環境省が通知した方法に従って、在宅医療廃棄物を回収している。市町村は31.0%（H19年2月）。H20年3月に日本医師会から、在宅医療廃棄物取り扱いガイドが出されているが活用されていない。市町村や医療機関が上記にある方法、考え方を知り適正な処理ができるのか、関係者間で検討していくことが必要かと思えます。その上で質問に掲げられている改善点も重視されてくると考えます。</p>
<p>Hの質問内容に関して現在できていますが、重要と思われる為、番号に○をしました。病院感染委員会と連携し対応しています。以前、地域の市町村へ処理の対応について確認した際に、バルン・ウロガード等はオムツと同じように新聞紙で包みゴミ出しに出してもよいと言われた事もあります。（その際には、患者様にあきらかな感染症がないことを確認し、対応していました）</p>
<p>尼崎医師会が、在宅医療廃棄物の取り扱いを細かく書いてくれたので助かっている</p>
<p>アンプル・針・プラスチックなど分別が出来ていないのでNSが持ち帰り主治医の所へ持参するのが大変（AさんBさんCさんとそれぞれ主治医がいるので）</p>

<p>医院からの物品は「医院に返す」という事が一番いい。</p>
<p>医師会から出されている処理方法の準じて家族指導しています（市の広報に記載）</p>
<p>医師会で在宅医療廃棄物について医療安全対策委員会で研修会をしてくれた（H20年）ので理解が進み、在宅での廃棄物に関して、スタッフも該当する家族に指導をおこなっている。今まで問題となった事はない。</p>
<p>医師会で統一してほしい。それを末端の医師へきちんと通達していただきたい</p>
<p>医師によってカテーテルやカテーテルチップ。ウロガードは一般ゴミに出すよう家族へ指示している。家庭一般ゴミとして扱われることで問題はないのでしょうか？マニュアルで具体的な物品を取り上げていただければこちらも先生へ（家族へも）伝えやすいと考えます。</p>
<p>医師の往診時、医療廃棄物が発生した場合は家族に指導して頂きたい（一般ゴミで出されていた家族があった）</p>
<p>以前はステーションが医療廃棄物を回収し母体施設において処理していたが、病院と相談の結果、病院で処理していただくようにしました。患者・家族が病院に持参する時に危険のないよう指導しています。</p>
<p>以前はプラスチック容器を自宅においてある人もいました。いっぱいになったら病院へ持っていったと話す人もいます。重いし臭うと言う事で私達は自宅等が出るビンや缶を利用しています。処理費用負担は今まで聞いた事はありません。</p>
<p>委託業者をお願いしているため、きちんと廃棄することを中心に考えていました。一箱が一万円ほどかかるため、もう少し料金が安いとよいかと思えます（箱の大きさを料金で違うと思えますが）</p>
<p>一般ゴミで捨てる事が可能な廃棄物も回収している部分があります。分別の区別のわかる資料等あったら良いと思えます。又、点滴抜針等、家族に依頼する時がありますが、安全に廃棄物の処理の保管が心配になる事がある（ステーションが回収するまでに数日かかる場合等）</p>
<p>一般の廃棄物に比べ年間の処理料が高額である。</p>
<p>今のところ医療機関に返却しており特に困っていません</p>
<p>今は、母体病院が感染性医療廃棄物と一般医療廃棄物にきちんとわかりやすく分別種類を明記してあり、処理しやすくなった。針刺事故防止も考えてあり、ありがたい</p>
<p>医療安全が重要とされる中、在宅利用者に向けてのマニュアルが少ないように思う。個別性を含めた資料を作る必要がある</p>
<p>医療依存度の高い利用者が増え医材料の種類・量も（人工呼吸器使用者の人工鼻、吸引用チューブ、プラスチック手袋、注射器類、胃ろうバルンチューブや尿バック、そのルートなど様々）同様に増えています。 訪問時に回収できるものは回</p>

<p>収めますが、廃棄物処理にかかる費用負担も多く利用者が独居の場合医療機関への持参も出来ない時などこの事業者が全て負担している状況です。利用者から見て安全・確実に廃棄しやすいシステムを望みます。</p>
<p>医療機関、かかりつけ医が意識して取り扱う傾向にあり、最近ではとまどうことが少なくなりました</p>
<p>医療機関によって指導内容が異なる。また市町村によっても異なるため ST としての統一は難しいのではと考える。</p>
<p>医療機関のついていない訪問看護ステーションなので、インシュリン注の針や点滴終了後のボトル・ルートなど利用者様から処分お願いされる事がありますが、お断りさせて頂いています。褥創処理で汚れたガーゼや血液のついた皮膚癌の処置後のガーゼなどの処理が困ります。古新聞に包んで可燃ゴミとして出す様指導しておりますが、ゴミ収集中破れて血液のついたものが出て来るのではないかと心配です。</p>
<p>医療機器を使っている利用者の方が少ないので現在利用者への指導で廃棄物の処理には大きな混乱はないのですが、今後医療機器の使用の利用者が増えたときの心配があります。その時の処理方法、業者の選択、経費等考えなければと思っておりますが、人手不足で訪問をこなすことに追われています。ゆっくり考える時間とノウハウを教えていただける機関があるとよいのではと思います。</p>
<p>医療材料等の処方をして下さった医院又は病院へ持って行って廃棄していただいているので、特にトラブルはありませんが、統一したマニュアルを市町村でもあると訪問看護を利用していない方もわかりやすいと思う。</p>
<p>医療廃棄物（主に点滴に使用した針）は利用者宅でコーヒーの缶等に入れ主治医が往診の際に持って帰ってもらいます。一時的に預かって来てもそのまま医療機関に返却しています。廃棄物については利用者、ナースともにケガのないよう注意をしています。</p>
<p>医療廃棄物業者と契約しているので、処理方法は適確に実施している。</p>
<p>医療廃棄物収納容器の購入費の負担が大きく、補助があれば大変助かる。また、処理依託の費用も負担になるのでこちらも補助等考えていただきたいと思うところ</p>
<p>医療廃棄物収納容器を家庭にある広口びん等で用意してもらおうが適当な容器の無い場合も多い。医療者（廃棄物を出す医療機関）が収納容器を出してほしい。</p>
<p>医療廃棄物全て指示を出す病院へ出している。在宅用分別方法マニュアルがあれば安全で説明しやすいと思う。</p>
<p>医療廃棄物については基本的に主治医の方で処理してもらっているので現在大きな問題はない</p>

<p>医療廃棄物については行政でどのように行ってくれるか確認し、新聞紙に包み対応しており、持ち帰るものは血液の付着した鋭利なもの（針・メスなど）でシャーパックをもらって行っている。ただシャーパックが常に車内にあるわけではなく、針はリキャップをして持ち帰ることも出てきてしまっている。針刺しを考えると対応が必要だと感じている。</p>
<p>医療廃棄物について針以外は自宅で処理できたら良いと思う。尿バックや点滴の空など地域においては一般ゴミに出せない所も多い。</p>
<p>医療廃棄物の収納容器は病院などに据え置いて使う事を前提としており、持ち運びには適していない。注射針などリキャップしないのがよいことは理解していても急な指示で実施した場合など、対策がとれなくて仕方なくリキャップすることが多いです。</p>
<p>医療廃棄物の処理については、材料等を支給した医療機関が本来なら回収すべきだと思われるが、回収する医療機関とそうではない機関がある。後者は「費用がかかるから」という理由からである。全て統一して医療機関で廃棄処分する方向になることを望みます</p>
<p>医療廃棄物の処理は利用者さんのかかっている病院や、そこで受け取れない場合は、懇意にしている病院にお願いして引き取ってもらっています。年間に出る量はそう多くは無いのでこの方法で今のところまかなえています。</p>
<p>医療廃棄物の処理費まで考えたことがありませんでした。当事業所は病院に併設している為、病院で処理してもらっていますが、インシュリンの針や尿管など他事業所ではどのように処理しているのか興味があります</p>
<p>医療廃棄物の処理法については、あいまいな事柄が多い。回収業者へ出す際にもマナーや基準がきちんと明言されていると各医療機関（開業医が多いが）へ依頼・説明が出来ると思います。</p>
<p>医療廃棄物の処理をステーションが担うのはコスト的に厳しい（設置主体が医療法人ならいいのかもしれないが） 患者に廃棄の方法を病院で指導手配してほしい（廃棄してくれるところも少ない） しかし、処理ルートが整っていないので、結果的に病院に持参するか、家庭ごみでの廃棄となってしまう。</p>
<p>医療廃棄物が出る利用者の方がほとんどいらないので、あまりイメージが沸きませんが注射針等は、かかりつけの医院で回収したり、訪問で回収したりする必要もあるのではと思います。きちんとした処理方法が分かればそれで良いと思いますが。説明や指導が必ず必要だと思います。</p>
<p>医療廃棄物の取り扱いについて利用者様へのパンフレットがあると忘れないでよいと思います。</p>
<p>医療廃棄物の取り扱いを一般家庭のゴミとは違うことを説明して指導しているた</p>

<p>め、当ステーションにおいては今まで事故があったという経験はなく使用済みの針やビニール類など個別に危険のないところに保管していただき訪問のときに受け取ってきています。</p>
<p>医療廃棄物の中には、家族ゴミとして処方して良いものもあると思うが（CAPDバッグ等）自治体によっても、その取り扱いが違っていたりするため、その区別がはっきりわかればと思う。また、そのことが地域の住民にも周知されなければトラブル発生にもなりかねない。</p>
<p>医療廃棄物の問題はゴミの問題、環境汚染、事故発生など管理をきちんとしなければ、大きな過ちにつながると思います。私たち医療従事者がきちんと管理する事で利用者様の不安軽減や安全を確保できると思います。</p>
<p>医療廃棄物は、ドクター、病院、クリニックの役割だとおもいます。当ステーションでも針～何から何までクリニックの方の回収をお願いしています。</p>
<p>医療廃棄物は、針・カテーテル等を処方している病院で積極的に回収してほしい。独居の方でも使用しやすい方法があると良いと思う。</p>
<p>医療廃棄物は感染のものが重要。（注射時のアルコール綿花血液がついたもの）（注射針、吸引チューブ、チューブ類）（バルンカテーテルとパック・輸血パック等）（点滴ボトル・ルートは廃棄物のときに分別。ルートについている針は別にする）非常に細かく神経を使う事が多い。</p>
<p>医療廃棄物は基本的に指示授与した病院のほうで処分してもらっています</p>
<p>医療廃棄物は基本的に主治医の医療機関をお願いしています。自宅処理可の物品もあるかと思いますがゴミ有料化となった現在利用者負担も増える為なるべく医療機関での処理をお願いしています。</p>
<p>医療廃棄物は指示を出した医療機関が責任をもって処理することになっている。こちらでは保管・分別についてアドバイスしている状況</p>
<p>医療廃棄物は主治医の指示によって発生したもので、回収後はステーションでの処理費用負担を改善してほしい。</p>
<p>医療廃棄物は訪問看護では持ち帰らず、指示医療機関で回収するべきと思います。</p>
<p>医療廃棄物は用意された（指示）病院・医院に持っていくため、ステーションは収納容器は用意していない。利用者宅から医院までの収納容器があった方が安全かと思う。どうするのが良いかと思う。</p>
<p>医療廃棄物マニュアルがあったとしても、主治医がどこまで受けて下さるかが課題</p>
<p>医療廃棄物を具体的に挙げてほしい。在宅医療に関係する方の入っていないオム</p>

<p>ツ等（赤ちゃんも含む）の扱いが燃えるごみでよければ、プラスチックゴミ（バルン等）も燃えるごみに提出でよいか？隣接区でゴミ処理が違う（プラスチックゴミの扱い）ので悩んだりする。在宅患者の感染チェック（血液検査）情報は少ないので、すべて感染症扱いで対応した方がいいかもしれないが、（収納場所も含め）コストを考えると負担が大きい。</p>
<p>医療廃棄物をどこまで定義するのか。一般家庭で排出されるもの（ケガをして血液がついたガーゼ等家人が手当てできるもの）も思います。自治体それぞれでも決まっていないこともあります。私たち訪問看護で明らかに病院・医院でしか使用しないものについては処理しておりますが、ドラッグストア等で売買されているものについては家庭で一般焼却ゴミとして出していますし、また制限できないと思います。国、医師会（医療関係者）自治体で協議決定していただきたいと思えます。</p>
<p>医療廃棄物は病院に持参してもらっているが、次の訪問時すぐに病院に持って行かれないので不安。針さし事故が不安</p>
<p>医療廃棄物を Pt 宅～事業所～母体病院へと汚物を移動させる事がよいのか、いつも抵抗を感じながら持ち運んでいます。事業所が狭いため廃棄物 Box をエレベーター前の人通りの多い場所に設置していますが、針やアンプル・バルンカテーテル等、危険物や汚物にて自室内管理が難しい為、屋外内（ドア一つ向こう）設置も仕方がないのかと思ってます。ゴミ箱（ふた付き）を使用していますが、専用容器を利用したいです</p>
<p>色々な廃棄物があるが、ナースの安全を考えると回収をナースがするのは・・・と思う（在宅での為） 各戸に処理容器を置くにもコストや一杯になるまでに時間がかかる等・・・</p>
<p>カゴートなどバルンカテーテル一式については新聞紙に包んで焼却ゴミにだしてもらっているが、ほんとうに良いのかどうかと思うこともある。 採血をしたあとの針、スピッツなどの保管など難しい</p>
<p>汚染ガーゼはビニール袋に入れ、普通ごみに出している。各自治体で取扱い方法が違う場合もあり、統一できれば良いと思う。</p>
<p>主に注射針に関して回答させて頂きました。在宅で自己注射されておられても高齢で処理がきっちり出来ない方もおられるので、受診の時などしっかりした指導も必要だと思ふ。本人が理解できなくても家族の方へも指導は大切である。二次感染防止の為にも在宅だけでなく、医院の対応も考えて頂きたい。</p>
<p>開業医によっては医院に持参するよう指導されるケースが多い。寝たきりの利用者に高齢の介護者宅への訪問も多い。主治医の Dr には配慮をお願いしたい。我々は利用者宅の利便性等を考え、主治医に返却したり、ステーションで処理してい</p>

る
回収し医療機関へもって行く手間と交通費がステーションの負担になる。
回収したものを医療機関に戻すために必要な人件費・時間・手間を多くの場合ステーションが負担している。特別な医療処置が必要な場合、医療機関と事前に廃棄物の扱いについて話し合っているのが、あまりトラブルはない。いろいろな工夫をして安全に移動できる様にしているが、針・容器・分別用容器など手に入りやすいと良いと思う
回収していないクリニックや、医師（クリニック）が回収するものと知らない所もあり（認識がない）具体的に物品処理等、ステーションの持ち出しになる事は困るので、在宅医・クリニック等への指導を徹底して頂きたい
開設時に医療廃棄物処理について準備が必要であったが、三年経過しても、業者より購入した容器がいっぱいになることがない状況。ほとんどが主治医回収になっているため。
開設時より、ステーションに、処理業者に委託用のプラスチック容器を設置しているが、訪問看護師が患者宅から持ち帰る事がないので、空の状態。点滴などのある患者には分別法を伝えて、往診医が回収して帰ったり、外来時に病院に持っていき渡すことにしている。訪問時、血糖測定のある患者が針を一般ごみに捨てているのを見てびっくりする事がある。針のするような患者には病院から回収ボックスを渡す事を義務付けてほしい。
かかりつけ医師が指示処方した医療廃棄物は、かかりつけ医師の責任で回収する事は当然であると考える。
かかりつけ医療機関によっては医療廃棄物を引き取っていただける範囲が異なる場合があり、統一化されるとよい
各行政によって捨ててよいもの、医療廃棄にする方法などが異なる為1日も早くマニュアルが欲しい。安全で地球にやさしい廃棄方法を徹底していきたい。
各市町村によって廃棄の方法、分別が違うので、各市町村のゴミ処理のマニュアルが欲しい
過去に一度だけ、医療廃棄物の取り扱い方法について十分説明したにもかかわらず、家族（患者家族）が遺法投棄に類似したような処理をしたため、医療廃棄物のロット No から母体である病院へ保健所を通して指導されたことがありました。地域性により個人の考え方の非常識が浮き彫りになった例です
家庭ごみと一緒に出せる物に関しては自治体により様々なので国がきちんと統一

<p>して欲しい。</p>
<p>家庭ごみとして、尿バッグ、食事用注入容器など基本的に針アンプル以外は良いのではないかと考えている。</p>
<p>家庭ごみとして出せるものもありますが、地域によってゴミだしルールや負担金などがあるので、処方して頂いたドクターの所が引き取ってくださると本当に助かる。</p>
<p>カテーテルや尿などが入るプラスチック製の袋などに関してプラスチックゴミで捨てて良いのか迷います。医療廃棄物の出る処置が多くなっており適正な処理をどのように行えばよいか指針を出していただければと思います。</p>
<p>紙オムツ類以外は持参物品等は回収して母体の感染物取り扱いマニュアルに順じている。血液で汚染されたガーゼ、綿花（アルコール）ティッシュ等はビニール袋に入れ口をしっかりしばって燃えるゴミとして分別していただくように指導している。</p>
<p>肝炎ウイルスや HIV などがある方の廃棄については神経を使う。在宅生活が長期だと感染症がチェックしていないドクターもあるので、全てにおいて感染源となることを考えて行うが、現在は点滴・採血はほとんど往診医が回収していくので、ステーションでは何ヶ月に1回か廃棄ボトルに針を回収する程度で特に困っていない。</p>
<p>看護師への指導もしっかり対応できる方と在宅介護で指導しても困難な方もありマニュアル通りにはいかないケースもあり。ただ針刺し事故、感染症の旨は十分指導し簡単に処理できる状態を指導している。毎回回収し自宅に置かないようにもしている。処理費用もかなりあり出来る限り主治医病院等へ持参し処理していく方向にしている</p>
<p>患者さん自身がHCVやVD等の感染を持っていた場合でそれらを知らない場合伝えたら良いかどうか迷う。伝えなければ家族内等で新たに感染してしまう恐れがあるので小さな子供のいる家庭などは伝えるようにしている。</p>
<p>患者に渡す段階で処理法の指導は確実に行ってもらいたい。</p>
<p>感染性医療廃棄ボックスがいっぱいになると、病院等へ持参しているが、量が多いので、車等での移送になるので大変。その都度ボックスを取りに行くので手間である</p>
<p>感染症の方の排泄物やケガの処置、褥瘡処置の汚染されたもの、在宅での処理はどうしたらよいか困ります。現在はビニール袋に入れて燃えるゴミとして出しているようです。</p>

<p>感染症の方もおられるので、業者委託が完全に安全に行えているのかが不安だと思います。業者の方の安全も大切だと思います</p>
<p>感染性の高い医療廃棄物の認識に個人差が大きい</p>
<p>感染性のある利用者の使用済みのカテーテル類はすぐに処理できると二次感染を気にする事がない。（現在1回/Wの業者が回収にあたるがステーションまで新聞紙にくるみ、ビニール袋に入れて持ち帰るが、車中が臭ったりする。</p>
<p>感染性廃棄物については特にマニュアルが必要と思われます。（医療従事者以外の方にも向けて）</p>
<p>感染予防の観点から扱いについて再度検討したい</p>
<p>危険性の無い胃瘻用の容器（チューブ付き）を不燃ゴミとして出したが、当日の実務者が「医療用」ということで拒否。行政に説明に行ったことがある。一見して医療用と分かり危険の無い物は分割したり、不透明ゴミ袋で二重に包んだりしている。新しい物もどんどん出てくるので、一般市民も行政も理解することは困難と思われる</p>
<p>基本、処分されたHPや薬局に医療廃棄物はもどすことを患者様へ指導しています</p>
<p>基本的に医療機関からでた医療物品は、医療機関に返却させていただくよう協力してもらっている。</p>
<p>基本的に医療廃棄物となりうるものは主治医から供給されるものであるため主治医の在籍する医療機関で処理されるべきと考える。静岡市では在宅医療廃棄物の出し方についてのリーフレットがあるためそれにしたがってビニールバッグ（輸液バッグ、ウロガード、CAPDバッグなど）チューブ類、カテーテル類、輸液ライン、ガーゼ、綿球、などシリンジ（針以外の部分）は新聞紙に包んで可燃物とともに回収してもらうよう指導している。針についてはかかりつけ医療機関へ返却になっているがそれを拒否する開業医がおり困っている。</p>
<p>基本的に医療法人がその廃棄については関わると思う。独立型の訪問看護ステーションは一切取り扱いません。回収は全て医師に任せる。</p>
<p>基本的に家庭で捨てれるものは家庭で。その他は主治医の所へ行きます。職員が持っていくか、家族が持っていくかはケースバイケースです。</p>
<p>基本的に処方した医療機関が回収し処分するのが妥当だと思うのでそれを徹底するようにしてほしい。訪問看護ステーションでは使用はするが処方したり回収したりは出来ないなので責任はもちかねる</p>
<p>基本的には医療廃棄物は病院・診療所に回収していただくことになっていますが、分別や保管方法を指導しても理解が不十分だったり、独居、認知症等の問題もあ</p>

<p>ります。訪問看護ステーションとしては、ケアマネージャーやヘルパーの協力を得ることや、取り扱いの理解を十分にさせていただく必要もあり、連携しながら行うようにしています。</p>
<p>基本的に針類は訪問医が薬局に返す様指導している。針入れはペットボトルを利用している。カテーテル類やガーゼは新聞紙に包み袋に入れ、外見から見えない様にこぼれ出ない様にして家庭ごみとして出す様に指導している。訪問看護ステーションからは医療廃棄物が出ない。やむを得ない場合のために収納容器がある。</p>
<p>基本的に訪問看護ステーションでは医療廃棄物を取り扱わない方が良いと思います。同一法人内クリニックが主治医の場合のみ持ち帰っていますが、本当は処方したクリニックが責任をもって回収するのが本来だと思っています</p>
<p>行政・病院ごと、ゴミの取扱いが違うので、各々確認は必要だと思う。家族、本人も、医療ゴミに対する知識がない為、指導が必要。</p>
<p>経営母体が病院であり、対応がしやすい。病院でのマニュアルがあり、指導しやすい</p>
<p>経営母体に準じている為・市町村ゴミ処理に準じている為、重要とは思っている。すでに取り組み済みです。改善の必要を考えず、どこに丸をつけてよいのかわかりません。</p>
<p>経営母体の病院がしっかりしているので不安はない</p>
<p>経営母体の病院に全て処理してもらっているので、イ・ハ・ホなどは頭を使う必要はないですが、マニュアルや指導についてはステーション独自でも実施しています。自治体によってはカテーテルチップ（直接血液や尿に使用していない物）されているところもあるようです。把握が重要だと思います。</p>
<p>経済的に裕福なら処理費用は患者に請求できるかもしれないが、そうでない地域には請求できない。またステーション負担は問題外。医師と違って処置料、往診料と各種請求できるわけではないので、訪看で医療廃棄物を処理するとなると赤字になりかねない。また回収するとしても次から次へと訪問するし、自転車・バイク移動は危険がある。何でもかんでも訪看が行っているからやってというのはおかしいと思う。医師が責任をもって行うべきだ。</p>
<p>携帯に便利でないと持ち運ぶ時困ります。安全面に不備が生じると心配です。</p>
<p>携帯用の廃棄BOXが欲しいが経費を考えると難しい。また訪問先に持ち歩けるものが欲しい。自治体により分別が異なるため、指導が難しい。</p>
<p>経腸栄養用のイリゲーター等かさばるので自治体で集めてくれるとありがたい。自治体で在宅での医療廃棄物の処理について通達出していないので処理の仕方に</p>

ついて明文化してくれるとありがたい。消毒薬のビンやシロップ類のビンは各家庭で洗浄の上各自治体から分別にしたがって出してもらえればよいと考えるが医療廃棄物として出されて困る。

系列の利用者さんは持ち帰り、他の医療機関は自宅で保管して頂き往診時に持ち帰っている。理解のできる利用者や家族の方であれば問題ない。そうでない場合はステーションに持ち帰り系列の医療機関で廃棄させてもらっている。針刺し事故のないよう対応してしる。

血液のついたものなどは別の袋に入れてもらって自宅で廃棄、感染症などある時は持ち帰りが良いと思いますが、こちらの捨てる為のコスト面を考えると針や注射器など限られたものを持ち帰っています。

血糖測定の針は小さいので小さい袋（キャップをして）に入れて持って帰るようにしている。ポート針の処理時針についたガーゼやオプサイトが取れにくいのでそのまま針手前のチューブを切って処理している。在宅医の先生によっては、各家庭に医療廃棄物用プラスチック製容器を持ってきて置いておかれるので助かる（24h持続で（ポート）点滴をされている方など）

現在回収を行っていますが、行政機関（自治体）でも回収が可能になってからも従来通りすべての廃棄物を回収してくることが多く収納容器がすぐにいっぱいになってしまい経費がかさみます。（病院併設なのでスタッフはあまり気にしていませんが）今後利用者にも説明して自宅で分別し処理できるものは持ち帰らなくてよいようにしていこうと思います。

現在回収は、使用済の針やチップなどですが、処理費用負担が今後増加するとなると、患者様側も検討が必要か、もしくは他方法などあれば教えていただきたい

現在在宅医療をされている病院は医療廃棄物に対してご理解（各病院で処方・指示された点滴は自分の病院で処理すること）いただいています。訪看ステーションで処理できると思っている方も多いです。当ステーションのように個人経営している所は特に廃棄物の処理は難しいです。コストの面でも医療廃棄物に対するコスト負担が高いと現在の収入では難しいかと思う。ある病院では点滴ボトルパックの種類によって、市のゴミ収集車が引き取ってくれる。というアドバイスをして下さっていたところもありました。

現在当ステーションでは主にインスリンの自己注射の方の医療廃棄物と在宅での点滴の廃棄物が多いです。インスリンに関してはふたのある空缶を使用してもらうよう指示しており、点滴に関しては点滴終了後ナースがステーションに持ち帰ります。病院と併設の為医療廃棄物で困ったことはあまりないのですが、他のス

<p>ステーションではどのようにされているのでしょうか。また処理費のことも考えたことがなかったのですが、発生することも考慮していかないといけない問題なのかもしれないと、このアンケートを通して考えました。</p>
<p>現在のところ各主治医の医療機関での取り扱いとなっており、困っていることはない。</p>
<p>現在の医療廃棄物は点滴に関わる物が多く、点滴物品はできるだけ主治医に出してもらい、終了した物は全て医院に持って行くようにしている（時として処理の依頼があった場合は業者に処理業者に委託）主治医の往診時に持って帰ってもらう場合もある。他、バルーンカテーテルやウロガードは利用者宅にて燃えるゴミとして出す。他に管理しなければならない物として何がありますか？マニュアルがあれば利用したい</p>
<p>現在は、当ステーションにおいて母体病院で費用負担していたが、このアンケートをみて、ステーションで支払っていたと思っていたのに手違いで払っていないことが判明。今後、費用もステーション負担となると思う。しかし、点滴の指示はかかりつけ医から出され、点滴に関する点数は病院クリニックが請求となり訪問看護ステーションにはない。とすれば、利用者の廃棄物の負担はDrサイドか利用者側にあると思う。処理のための費用設定をさせていただいてもよいのかと考える。</p>
<p>現在膀胱洗用チップ・ウロバック・生食容器は家庭ゴミに新聞紙に包んで捨てている。が、正しいか判断しかねます。</p>
<p>現在訪問看護指示書が発行されている医療機関に廃棄物を持参し処理していただいているが、各ステーションが協働で医療廃棄物をあつめて業者に委託する方法も考えていかなければならないと思う。</p>
<p>現在まで患者や家族が事故を起こした事はないが、取扱い方法については今後も十分に注意していきたい。もし家族が針刺し等起こした場合にはどうなるのか、指導管理が不十分という事になるのか…</p>
<p>現在利用者が少なく、廃棄物は利用者様がほとんど病院受診時に病院で回収してもらっています</p>
<p>現段階で望ましい方法①注射針等の鋭利な物は医療関係者か患者・家族が医療機関へ持込み、感染廃棄物として処理する。②その他の非鋭利な物は市町村が一般廃棄物として処理する。（当ステーションでは注射器・針・点滴ボトル等も回収し病院に持って帰っています）</p>
<p>神戸市は医療廃棄物の分別方法を表にまとめてくれているので、利用者にはそれをコピーして目につくところに貼るようにしているため、わかりやすく指導しやすい</p>

<p>個々のステーションが独自に管理するには処理費が高いので必然的に事故になるようなもの（点滴セット）などは医療機関に必ずもって行きます。実際利用者が廃棄物を適切に処理しているかどうかまでは管理できていません</p>
<p>今年になり在宅医療廃棄物の取り扱い内容が増え、膀胱洗浄時のカテーテルチップ、注射器（固定用）が廃棄される対象となり廃棄費が多くなっている。利用者負担又は開業医にも負担して欲しいと思う。</p>
<p>このアンケート結果はどのように知る事ができるのでしょうか？</p>
<p>このようなアンケートがあるとあらためて自分たちの日々の業務、患者家族への指導についてふりかえることが出来ます。医療依存度の高い利用者の在宅療養が増えて行くと在宅医療廃棄物のとりあつかいに関する事についても、さらに意識を高めていく必要があると思います。</p>
<p>ゴミの有料化に伴い、分別したり、料金が発生したりと利用者の負担が大きくなっている。</p>
<p>根本的な部分の理解がされていない上での説明になることが多く、結局危険なことも起こりかねないという不安がある</p>
<p>在宅医の考え方が医療機関によってまちまちなので、患者を管理している医療機関が物品処理に関しても責任をもって行ってほしいと思います。使用済尿道留置カテーテルの処理に関しても消毒に使用した綿球からカテまで全て新聞に包んでオムツと一緒にすててよい、という所と、次回の往診時に回収するのでビニール袋に密閉しておいて下さい、という所とあります。方法を統一してほしい。また、医療廃棄物の処理に関して、一般的に在宅医の認識はうすいように思います（HPに比べて）</p>
<p>在宅医療が推進される中で、医療廃棄物の問題は後回しにされていたが、自治体や各団体の適正処理ガイドライン等の働きにより、平成20年4月からは処理の費用負担はなくなっている。</p>
<p>在宅医療における全ての医療材料は医療機関からの提供となっているので、その処理についても全て医療機関が行うべきだという判断の元、当ステーションでは医療廃棄物の回収や処理はおこなっておりません。</p>
<p>在宅医療に関して理解のある主治医が多く医療廃棄物で困ることは少ないです。しかし回収するまで自宅で保管する為ご家族への注意・指導（特に小さな子供さんのいる家庭など）が必要となります。</p>
<p>在宅医療廃棄物取り扱いのマニュアルがほしい</p>
<p>在宅医療廃棄物取り扱いマニュアルを行政において指導いただきたい</p>

<p>在宅医療廃棄物取り扱いマニュアルを作るのは困難な為、いただけたらうれしい！</p>
<p>在宅医療廃棄物については細かな点までわかりにくい所があり迷いながらやっている。自治体によって違うかとは思いますが、区別がはっきりわかるとよいと常々思っている。1部分を家庭ゴミ1部を廃棄物へとかわかりやすいマニュアルが欲しい。</p>
<p>在宅医療廃棄物については訪問看護ステーションが行うべきではないと考えています。主治医の先生と相談しながら点滴、針、ルート、汚染されたガーゼの処理方法について本人、家族に適切に指導しております。</p>
<p>在宅医療廃棄物容器が決められているようになり、在宅での医療廃棄物の保管や廃棄方法が統一されることが望ましいと思う。</p>
<p>在宅から出る医療廃棄物の取り扱いについては、地域の訪問看護ステーションでも話題にのぼり、結局各市町村の環境安全課にそれぞれ問い合わせをし各自治体の持つ焼却炉の担当者に出していいもの出せない物を確認した結果、鋭利な物以外はきちんと出せば引き受けてもらえることになり、実施中（家族指導し一般ゴミとして出す）出せない物については提供先に戻す（届ける）か引き取ってもらう方法で今のところ問題なし</p>
<p>在宅からの感染物もあり、事業所へ持ち帰るまでの車内や自分自身にも気をつかう。又、現在使用中のは、四角のバケツ型でフタが出し入れしやすい為に大きいですが、開けた時など臭気が気になる</p>
<p>在宅生活の方の年齢や社会背景によって廃棄物に対する考え方も違い、なかなか浸透させていけない。汚物（血液のついたガーゼ・便・オムツ等）に処理の仕方をもっと自治体や通院している病院・訪問事業所単位で「ケイハツ」していく必要がある</p>
<p>在宅で各医療行為（処置）を行う場合が増えており一定の標準的なガイドラインは必要。それもできれば、各都道府県の看護協会もしくは訪問看護ステーション連絡協議会が発行してほしい</p>
<p>在宅で管理をするには高齢者、認知症、精神障害、小さい子供さんが居る家庭での管理は困難だと思う。低コスト、又は、無償でのサービスが有れば良いのではと思っています</p>
<p>在宅で点滴をする事が増えています。ガラス容器や針は出された医療機関に返してもらっています。薬品が入っていた空の容器は自治体に添ってそれぞれに提出</p>

<p>してもらっている。</p>
<p>在宅での医療廃棄物は主に針（点滴、血糖測定、インスリン）点滴ルートなどが主でバルンや吸引カテーテルなどは家庭ごみとして出して頂いてます。その際新聞や袋にきっちり包んで外に出ないように処理しています。</p>
<p>在宅での医療廃棄物はすべて母体病院で処理してもらっている為ステーションに持込むことは無い。統一されたマニュアルがあり、それに従って行っている。</p>
<p>在宅での医療廃棄物への取り扱いは様々で、Ns. Dr の意識も薄いと思われる。ただ病院とは違い、ある程度、幅を持たせたマニュアル作りが必要かと思われる</p>
<p>在宅での訪問看護等が関わっている患者様は、継続的に見っていますが、外来通院等だけの患者様たちがどのように医療廃棄物を処理しているのかを外来看護師が正確に把握、指導できているかは疑問です。自宅では廃棄できない物の一覧等が医療従事者と患者にわかりやすい形で示していければよいのではないかと。</p>
<p>在宅ではインスリン注射、点滴等の後始末が多いです。</p>
<p>在宅では取扱いが曖昧な面があると、訪問看護ステーション同業者間で話に出てくる。各々の場の違いがあると思われるが、最低限のマニュアルの整備は必要であると考え</p>
<p>在宅でバルン留置カテーテルを入れている方が多く緊急での訪問も多くなりました。2週間に1回の交換以外にも交換しているので40ℓの医療廃棄物収納箱は2ヶ月で交換（1回3150円）しています。針は5250円箱に回収しています。1ヶ所は在宅療養支援診療所の方で回収してくれています。この費用の負担は上乘せしてもらいたいです。 . . .</p>
<p>在宅において、主治医が準備した物品にて使用後は病院に返す事になっている。（点滴・針など） 処理費用に関しては患者、ステーションには関係ないのが現状です。收容容器についても空き瓶・空き缶を利用して密封できる物でを利用</p>
<p>在宅において、独居、老老介護世帯の方々の医療廃棄物処理が不完全である事が多い。 CAPD や点滴後のチューブ、バック類がそのまま室内においてある事もある。訪問時、まとめて処理する事もあるが、そのような面で苦労している。</p>
<p>在宅においての廃棄物は増加してくると思われる。感染などの理解についても患者様、ご家族様に理解力の部分でより指導及び取り扱い方法について必要であると思われる。</p>
<p>在宅における医療管理要の患者が増加現状において、医療廃棄物の取り扱い量も増加しています。管理・処理・経費等、訪問看護における業務拡大もあり、指針が望まれる。点滴等、感染性の廃棄物は点滴を出した医療機関へ届けるのが主流とは思いますが、届けにくさを感じているのも実態です。夏場は廃棄物を医療機</p>

<p>関まで届ける時間や悪臭も有り、当ステーション内に業者契約している廃棄ボックスも構えています。</p>
<p>在宅に関しては、感染の有無について確認がとれていない事例が多いため、取り扱いについては、かなり注意しています</p>
<p>在宅の場合、ステーションの対応により処理方法がまちまちである事が問題だと思う。当ステーションの場合は、母体病院のマニュアルにそい、すべての廃棄物を持ち帰りステーションで分別している。自宅での持ち帰りまでの保管については個別に指導しているが、指導マニュアル作成（パンフレット等）も考えている</p>
<p>在宅の場合、医療廃棄物については、かかりつけ医がきちんと処理する事になっていると思いますが、ほとんどNSまかせで行っているのが現状です（Drの自覚がやすい）処理費用もST側（当STではHP負担）の負担になっているので、Drへの指導も徹底して頂きたいと思っています。収納容器についても、ペットボトルや空き瓶等を利用しているため、針のみ回収しています。点滴の袋や輸液セットは、ビニール袋にまとめて燃えるゴミに家庭から出してもらっています。薬品業者（提供する側）から容器も一緒に提供して頂けると有難いです</p>
<p>在宅療養されている方が通院している病院によって、受診の時に持参してという病院と普通に廃棄してという病院があったりするので、訪問した時にどう指導されたかを確認はしているが、その地域で違ったりすることがあるので、具体的なチラシ（一枚）でわかりやすいものを各病院に配布し、在宅が始まったら渡してもらおう等を検討してみてもよいのではと思います。</p>
<p>在宅療養する方が増えてきている中、まだまだマニュアル化されていないことが多く自治体によって取り扱いに違いが大きい。利用者宅で指導していても自治体に合わせた内容を伝えているがゴミとして出してよいのかと戸惑う声もよく聞く。</p>
<p>在宅療養は病院に比べて感染源となる病原微生物は少ないと思われませんが、医療依存度の高い方が在宅に移行されるにつれ、様々なカテーテル等が挿入されています。訪問者が感染源になったり、感染を受けない為にも取り扱いに注意を払っています。又、家族への指導、助言はその都度行っています。幸い母体が病院でするので、廃棄が容易なことが利点です。</p>
<p>産業廃棄物処理業者と自治体での取り扱いが異なることもありわかりにくい。開業医での取り扱いも含めてわかりやすいマニュアルが必要だと感じる</p>
<p>市（可燃ごみ）で回収してくれるので助かります</p>
<p>事業所内で文献を参考にマニュアルを作成しているが文献内でも取り扱いが統一されておらず各自治体でも違うので困惑する。</p>

<p>事業所の一般ゴミと別納で余分に処理代金が必要で、結構高額で医療依存度の高い患者数が多い時は少々負担に感じている</p>
<p>事業内の医療廃棄物を業者に依頼するときのコストがとても高いので小規模事業者には負担が大と考えている</p>
<p>指示があったドクターに感染性廃棄物を返したいが、時間や動線が合わないときがあり、すぐにステーション内溜まってしまう。DIV 本体も家庭ごみでよいという見解あり困惑する。</p>
<p>指示のあった医院に返すのがあたり前になり、処理費用もなく助かっている。専用の収納容器を取り入れたいと思っています。アンケートの意図がわからない。医療廃棄物は指示のあった医院に返すのがあたり前になっているので、ステーションの負担はありません。</p>
<p>指示を受けている医療機関によって違うので統一したマニュアルがあるとよい</p>
<p>自ステーションに持ち帰る時の適切な容器があればいい。（現在は自前で 100 さんの容器で工夫している） 持ち帰った後、専用の容器に移す時も悩む場合あり。ビニール袋は簡便で活用している。</p>
<p>施設によっては点滴等を処方しても廃棄物は関知しないというところもありしっかりとした廃棄物取り扱いマニュアルが出来、全国的に統一されれば処理方法でその点の問題はなくなると思います。ただし家庭内でのケガ（針等による）臭い等の問題はマニュアルがあった場合でも容器代のコストや分別方法の手間等まだまだ課題はあると思います。だからと言って見過ごしておける問題ではないと思うので、調査研究の結果少しずつでも改善されて行けば良いなと思います。大変だと思いますが、調査等がんばってください。</p>
<p>自宅で輸液療法されている患者様宅より、空、使用済み、輸液バッグを回収しているが空のバッグで針をつけていない（取り外したもの）ものは自宅で自治体で回収は不可能かと疑問に思ったことがあります。やはり医療廃棄物なので無理な事ではあると思います</p>
<p>自宅に於いての医療廃棄物処理の可能な範囲を入院中に指導する必要がある。患者の主治医医療機関に持参する指導をするのであれば、病院側から廃棄物収納容器（有料か無料か検討）を必ず渡す。患者に代わって訪問看護師が医療機関側への返却を代行することは可能。医療処置を指示した医療機関と患者との医療廃棄物処理関係の見直しが必要</p>
<p>自宅へ業者が回収に行ってもらえると利用者は助かると思います。</p>
<p>自治体が医療廃棄物についてアピールすることがなかったので、問い合わせに対し口答で返答あり、自治体からの指導内容、文章があればと、（・ごみ集積場所</p>

<p>の連絡を入れる（利用者から自治体へ） ・ 医療廃棄物とわかる様に緑色のリボンをし、出す） 針アンプル等の危険物に関してはステーションに持ち帰り病院にて処理をお願いしている。</p>
<p>自治体によりゴミの取り扱いが異なるため、医療廃棄物としなくてもよいものまで持ち帰ることが多い。指導してもその場で療養先に戻すこともできずとりあえず持って出ることになっている。</p>
<p>自治体により処理がことなる為、指導する場合に間違ってしまうよう配慮をしています</p>
<p>自治体により排出方法が異なるので、利用者住所により問合せしている。在宅で輸液やインスリン自己注患者は多いのに、医療廃棄物の処理方法は知られていない（教育されていない）事が多い。その為、訪問看護師の（質問 F）のような任務は大きいと考える。</p>
<p>自治体により分別が違うので面倒。</p>
<p>自治体により分別方法が違うため、ややこしい。自治体でもこういう医療廃棄物はすててもらってもよい等、記入したパンフレット等つくり、配ってもらったら、わかりやすいと思う（捨てる時のすて方なども記入）</p>
<p>自治体やごみ処理場、それぞれで基準や取扱いが違う</p>
<p>自治体レベルで廃棄のとりきめは違うと思うが周知されてないことが多く、問い合わせも明確な返答がなかったり事務所によって口頭指示の内容が違ったりと煩雑である。わかり易い指導用マニュアルが自治体から発行されることが希望です</p>
<p>市町村自治体によりごみ処理回収としての医療廃棄物の取扱いについて確認したところ、各々異なる返事をもたらした。厚生労働省より出されたガイドラインにそって「鋭利なもの」以外は自治体回収に出してもらっている。</p>
<p>市町村によって医療廃棄物の処理をきっちりされているところもあり分別方法が違うところもあるが、医療法人のステーションであるのでほとんど訪問時回収をしている。</p>
<p>市町村によって分別の違いや自分達も不安なところもあり、分別・区分がわかりやすいパンフレット等があると、利用者様への説明もスムーズに行えるかと思えます。</p>
<p>市町村によっても違いがあり利用者・家族にも具体的にどういうものは・・・と言う様にどう分別・処理するかの知識を広めてほしい。</p>
<p>市町村の処理方法それぞれの医療機関での処理方法いろいろあり、それぞれの利用者によってかえなければならない。ステーションとしれば医療機関へ持ってい</p>

<p>かなければいけない場合が多く負担になっている。自宅で利用者又は家族が分別、廃棄や医療機関へ届けることが難しい場合が多い。</p>
<p>実際どのようにしていったらよいのかわからないです。当ステーションでは、その物品を出した方が責任持って処分まで見届ける方針で行っていますが、もっと親切な方法があるでしょうか</p>
<p>市との話し合いにて収集できるものが増えました。ゴミ出しの仕方は、訪問時 地域に出すゴミとしてのエチケットとして説明することは、とても重要です。病院・医院の対応の遅れを感じます</p>
<p>自治体によって、処理の仕方が違うので、訪問看護の利用者の地域によつて指導を変えないといけない。統一してもらいたい。統一できなくても、一覧表に示しステーションに周知してもらいたい。廃棄物はステーションが回収するべきものは一部だが、指示を出している Dr にはゴミを渡すようで、結局ステーションが引き取ってしまい、費用の負担も大きい</p>
<p>自治体によって処理方法が異なったりしている（TPN の空容器・輸液ルートなど） ディスポの人工呼吸器の回路を持って行ってもらえない時があった（自治体には確認し、出して OK であったが）</p>
<p>自治体によってちがうようです。ほとんどのものは家庭ゴミで出しても良いということになっています。全部回収するのは費用的にも大変です。利用者向けの取り扱いマニュアル（パンフレット）があればと思っています。</p>
<p>自治体任せではなく、全国統一で扱うべきと考えている。特に単独のステーションのためにも、払い出す側は居住自治体と限らず・・・医療機関処理責任とすると、利用者の負担が大きい場合もある。ステーションは物品を払い出してはならないことになっており、回収義務はないと思っています。</p>
<p>主治医が回収すべきところ徹底されていない為、結果訪問看護師が感染防止やリスクマネジメントの観点で処理をしている現状。主治医の所属する医療機関に持参したりその時間が捻出できず、事務所に持ち帰り処理したりする。</p>
<p>主治医との契約をし、廃棄物は返却しています。</p>
<p>主治医になる病院、診療所に 例えばびんに入れて持っていくか、往診時に持ってもらうようにしていますが、医師の方から苦情が出たこともなく問題はありません</p>
<p>主治医により医療廃棄物の方法が違い、大きな病院では全てお任せできますが、個人の医院では一定していないため、戸惑うことがあります。</p>
<p>使用針など提供医療機関に廃棄して頂くよう家族に指導します。呼吸回路などは提供業者に廃棄方法を尋ねて家庭で処理して頂いています</p>
<p>処理業者に委託していますが、ステーションにとっては負担が大きいです</p>

<p>処理については、それを管理する医療機関で費用を負担するものと考えている。膀胱留置カテーテル類については、針さし事故等の回収業者への危険を与えるおそれがないことから、一般ゴミとして捨ててもらっている場合が多い（持ち帰るにはかなり悪臭を放つものが多いため）</p>
<p>処理に迷う事がある。都度行政と相談して指導に従う。処理は原則として指示をいただいている主治医の所属先でお願いしている。</p>
<p>処理費用の負担の話が出ることがあるが少数の為母体で負担して欲しい。母体は経費削減の為、理解が難しくなっている。</p>
<p>人工肛門の方が使用したパウチ類は汚染物であるので、ビニール袋に入れ、新聞紙に包んでゴミに出す指導をしているが、適正かどうか疑問に感じた。</p>
<p>診療所の医師が依頼の点滴やバルンカテーテル等の医療廃棄物をわざわざ診療所まで持参するのも大変なので母体病院と一緒に処分して頂いている。当ステーションは母体病院がありいいが、独立型のステーションは大変苦勞していると思います。</p>
<p>診療所の医師が点滴指示をされ、ナースが点滴を実施することが殆んどだが、出来るだけ処方をした医療機関に返納するように家族の協力も求めていくことが大切。訪問ナースから医療廃棄物を持って他の家を訪問するのは避けるべきだと考えており、指示を出すドクターにも再三説明をして協力してもらえるようになりました。</p>
<p>ステーションからの医療物品管理はなく病院や往診とのやりとりで行う為、必ず点滴や針などの医療廃棄物は物品を出してもらったところへ廃棄も依頼している。尿管カテーテルや吸引チューブなどはビニール袋に入れて一般ごみで出すように指導している。</p>
<p>ステーションで医療廃棄物を処分するには、とてもコストがかかります。できるだけ、主治医のところで処分していただけるようお願いしています</p>
<p>ステーションでも業者と契約しているが、基本訪問看護の指示書を書いてくださるドクターの所で処理していただくように事前をお願いをしているので、大きなトラブルはない。</p>
<p>ステーションによって対応が違うため、統一したものがあればよい。</p>
<p>全て持ち帰りステーションにて分別。処理業者が月に一回収集に来る。</p>
<p>その担当病院となる側の意識として確立されていない。ゴミ処理について入院中の指導のまま在宅でも継続されるので一般ゴミでもよいものを廃棄物として渡される。</p>
<p>大学病院で処方された点滴など、月一回の受診となると医療廃棄物を大学病院に</p>

届けるのは、家族にとって大変。(老老介護は特に) その際、私どものステーションで処理している。そうすると、かなりの量になる。
大病院がかかりつけの場合、処理に持参されるのが大変だと思います。近くの薬局がインスリンの針の処理をやってくれるところがあり助かります
地域や主治医によっても分別等の違いがある。利用者が安全に分別・廃棄ができるよう、病院や自治体でパンフレット等があると、わかりやすい。
小さなステーションでは、医療廃棄物を負担するお金もないし、数も多くない為、指示した病院がひきとってほしい。
近頃はクリニックへ回収しても不快な顔はされない。むしろ安心される。そのためにも処理に対する法令は大切だと思います。北九州には回収した品をリサイクルできるところもあります。先日その業者による研修がありました。ちゃんと回収できるものが生かしていることを日本人全員が自覚できるとよい社会になるとおもいます。
地自体により処分方法が異なる場合がある
地方自治体ごとに分別・回収が異なっている。不燃物として回収され、安易に埋め立て等しているのではないかと考えると環境や二次感染等心配がある。
地方自治体によって異なると思いますが自治体でOKになっているもので出せるものは出しています。
注射針や血糖測定時の針など、プラスチックでコンパクトな容器があればいいと思う。今は注射針はリキャップしてもちかえり血糖の針はジャムの空き瓶などにためてから事務所に持ち帰ったりしている
注射、点滴等行っていないので基本医療廃棄物は出ておりません。また感染症等で予防衣等の処分についてはステーションに持ち帰り、医師会にて処分します。
注射・点滴・IVH以外のものは、各自で一般ごみに出してもらっている。点滴セット・針・アンプルは、まとめて指示を出した主治医の病院で処方してもらっている。
注射針等の鋭利なものは厳重に管理している。感染のリスクが低いものでも点滴によって生じるもの(輸液バツク・ルートチューブ・アンプル・シリンジ)は見た目に気になるので病院に返している。しかし、排泄関連(ストマー・Hrカテーテル・袋・Mチューブ等)は一般ゴミみ出している。市町村によって考え方が違うので迷う事がある
注射針など危険で感染性の恐れのあるものは事業所持ち帰りにするが、その他はなるべく自宅から行政での収集にならないかと思っている。ただ利用者宅の処理でお願いの場合、認知症家庭はごみの事も持ち帰るようにしている。利用者宅の状況により処理方法も変えている(持ち帰りの有無)

注入食に使用した栄養セット等、食器と同じ取り扱いを行っている感染の危険性のないものは、行政が生活ゴミとして処理すべきと思います（現に当市は回収してくれます）又、CAPDのように一度に沢山の廃棄物が出て市民の生活に不可欠であれば、行政回収でよいと思います。ただ、感染性の高いものや危険物に関しては医療従事者が破棄の所まで責任をもつ必要があると思います。しかしながら、小さいステーションの収入の中から費用負担をする事も現実大変です。こういうコストを上乗せした報酬や加算も今後必要になると思います。

定期で使用する針（ex インシュリン・血糖測定）は管理されており、くわしい説明は必要ないが、臨時で行う点滴などの処置方法を、利用者に指導 及び主治医に返却することの面倒くささはある

提供する医療機関が確実に責任をもって対応すべきと考える

適正な取り扱いについて、具体的に示すことが重要である。感染性廃棄物についても同等である。

できれば、指示をだしている主治医が処理していただきたいと思います

点滴・血糖測定・インシュリン注射の針がほとんどです。主治医の病院へ返却する方法で無料で処理していただいています。認知症の方などのお宅には収納容器をおかないようにしています。収納容器にはペットボトルや空き瓶を利用することが多いです

点滴処理後の容器やルートなど回収してくれる医療機関もありますが、ほとんどステーションで回収している為に、費用負担がステーション側に多くあります。月に1～2回処理していますので10,000～20,000円の費用負担があります。

点滴の空容器や針は病院に返すが、バルブやカテテルや浣腸空容器は新聞紙に包んで普通ゴミにだしている現状です。市町村で分別方法、処理方法を明確にしたほうがよい。

点滴バックは医療廃棄物になるのか一般ゴミになるのかわからない。薬局等では回収するが、一般ゴミで出しているとのこと

点滴をはじめ様々な医療処置がある為、医療廃棄物の在宅での取扱いについてマニュアルがあれば大変良い。後は各自治体に従い安全に処理できれば良い。（何でも医療廃棄物とするのではなく、手間とコストが削減できるため）

当Sでは、利用者の件数戦勝の有無を確認している。褥瘡交換から発生するガーゼ

<p>程度でそれも最近ケースがない。点滴注射等からの物品はすべて主治医対応となっている。できれば在宅におけるマニュアルをもう少し具体的なものとして配布、指導してほしい。家族、医療従事者、介護従事者もふくめて。</p>
<p>どういふものを医療廃棄物にするのか明確な判断がし辛い。</p>
<p>同一法人でない医療機関が提供したのも訪問時に回収してステーションの負担で処理をしているのが現状だが在宅での医療廃棄物の処理方法について主治医に周知徹底を図る必要があると思う。</p>
<p>当事業所は以前は持ち帰って母体の病院に持って行ってましたが、現在はすべてそれを処方した医療機関へ持参するように説明しています。ガーゼ等は新聞紙にくるんで生ゴミにだしています。</p>
<p>当ステーションでは、利用者が初めに医療施設側から説明をきちんと受けられておりトラブルはありません。アンプルや針や、汚物はプラスチック容器に入れます。</p>
<p>当ステーションではDMの針、注射器、点滴などはすべて病院へ持参している</p>
<p>当ステーションでは一関地区広域行政組合でパンフレットを作成しており、それに基づいて利用者様に説明している。医療用注射針・点滴針は支給された病院へ返却。それ以外は「燃やすごみ」にだしている</p>
<p>当ステーションでは医療廃棄物というと、糖尿病の自己注射針と持続点滴程度しかないため、処理で問題となることはないのが現状</p>
<p>当ステーションでは主治医の属する医療機関で処理をお願いしており、回収や持参の手間はあがるが、それほど大きな負担ではない。訪問看護利用以前の処理方法が適切ではなく、指導が必要なケースはよく見受けられる。（インスリン注射の針等が一番多い）</p>
<p>当ステーションは、主にリハビリを行っているため、医療処置の必要な利用者様が少ないので、あまり参考になる返答ができず申し訳ございません</p>
<p>当ステーションは、訪問時に回収し、母体施設が病院なので、そちらで処理できるが、ステーションが単独型などになると処理が大変になると思う。（主治医が処理してくれればいいが、むずかしいところもあると思う。また費用もステーションが負担するとなると、経営的にも大変だと思う。）インシュリンや血糖測定の針などは、主治医で回収してもらっているようだが、実際きちんとできているかどうか不明。訪問時に指導はするが、確認までは十分にできていない。（母体が主治医の人は回収してきているが、他の人は利用者の方にまかせている）</p>
<p>当ステーションは医療機関に附属していない為家庭ごみとして処分出来るものは患者宅で、それ以外の医療廃棄物は処方して頂いた医療機関での処理をお願いし</p>

<p>ているのが現状です。これまでの所指示を医師からうけた段階で処理のお願いもしている為、特にトラブルもなく行えています。</p>
<p>当ステーションは医療廃棄物がさほどありませんので、しっかりしたマニュアル、行政指導が欲しいと思う</p>
<p>当ステーションは神戸市の医療廃棄物の手引きに従って処理を行っているが訪問先が特に最近自己インシュリン注射をしている人の処理について危険と思うことがある。ステーションに全て持ち帰って処理費用を負担する事も出来ないのもっと患者が適切に処理できる方法があればと思う。</p>
<p>当ステーションは処理について母体である病院に行ってもらっているので助かってます。ステーションで行っている所は費用を含め大変なのではないかといつも思っています。</p>
<p>当ステーションはすべての医療廃棄物を医師（往診医）に返却し処分していただいています。</p>
<p>当ステーションは精神科主の為現在は医療処置等の援助はほとんどありません。しかし合併症としてDM、肝臓病等の対応で過去にインシュリン、点滴等指示が出来ることもあり、今後に対応していく可能性もあるので在宅医療廃棄物取り扱いマニュアルがあるととても参考になると思います。</p>
<p>当ステーションは精神科訪問看護を専門に実施しております。医療廃棄物としてはインシュリンの針程度ですが、こちらで処理を手伝うことは（運ぶなど）はありません。ただ、症状の悪い利用者さん宅で針が床に落ちていて危険を感じたことがあります。</p>
<p>当ステーションは比較的医療依存度の高い利用者様が多く、IVH等利用されていますが医療廃棄物については一切ステーションへ持ち帰ることはしていません。主治医も往診時に持ち帰って頂いており、トラブルはありません。臨時で往診以外の主治医より指示出た時も受診時に家族が病院へ持参しています。医療廃棄物をステーションへ持ち帰ることの方が感染源を運ぶことになるのでおかしいと思います。指示を出した主治医に処理して頂くべきと思います。</p>
<p>当ステーションは病院に併設されているので、万一何か医療廃棄物がでた時は病院と一緒に処理を依頼しているが、単独のステーションではきちんと業者に委託されないといけないので、大変と思う</p>
<p>当ステーションは病院の中にあるので、開業医の患者さんで指示を出された注射針などもわざわざその開業医まで持って行かず病院で処理してしまう事もあります。遠方の開業医であったりすると時間等のロスになるので大変だと思います。</p>
<p>当ステーションはリハビリを主体にサービス提供している状況で量的には回収が</p>

<p>少なく、現在は膀胱洗浄時のピストンやボトルが主な廃棄物となっています。指示医である医療機関が近い為そちらへ持参し処理依頼しています。当行政区では在宅医療の医療廃棄物について医師会と連携しルールが作られています。別紙パンフレットをご参照ください。</p>
<p>当ステーションはリハビリを提供することが多い為体制的にも看護での医療処置等是对応することが少ない為廃棄物処理もあまりかかわることがありません。</p>
<p>当ステーションは隣接地に医療施設があり、処分等はお願ひし、管理してもらっているが、もし母体が医療系でなければ大変苦勞する事だと思う。</p>
<p>当ステーションは精神障害をお持ちの方がほとんどです。今のところインシュリンの自己注射をはじめ、医療行為に関わることを実施されている方がおりませんので、上記のような答えになりました。</p>
<p>糖尿病の患者さんで独居の方もしくは家族の協力が得られない方など針や血液のついたチップの処理がかなり危険な方がいる。訪問看護が入っている所は良いがそうでない人々はどのように処理しているかを考えると少しおそろしいと感じる。そのような方々は病院・医院で定期的に必ずチェックする対応をするなど管理する必要がある。もう少し病院、診療所、在宅の医療従事者がわかりやすいマニュアル（血糖測定用の針はどこへ返す、点滴の針、アンプルバックそれぞれの捨て方など）があるとよいと思う。</p>
<p>当訪問看護ステーションではかかりつけ医が回収してくださる場合助かりますが、そうでない場合、回収の度、処理容器の置いてある施設まで持っていかなければなりません。コストは処理施設負担のためどれだけの負担金が発生するかによっては影響を受けます。補助金制度があってもよいのではないかと考えます。</p>
<p>時々ご家族の方から家庭で処分すると言われますが、やはり一般家庭から出る物ではないので、訪問看護が関わっている利用者宅ではよく説明をし、回収すべき物だと思います。自治体により差はあると思うのですが・・・</p>
<p>どこの病院も点滴の指示がでたら、使用後の点滴分品、血液付着したアルコール綿まで、医療廃棄物で回収してくれています。</p>
<p>どこの部分までが、医療廃棄物なのか明確になり誰の責任でお使うのかを明確になるとスムーズになると思う。</p>
<p>どこまで医療廃棄物とすべきなのか迷います</p>
<p>どこまでを医療廃棄物とし扱うのか、時に迷う事もあり人によっては理解して頂けない等、マニュアル作成も苦勞する事があります</p>
<p>どこまでを医療廃棄物として取り扱うのか、具体的な内容の把握がまちまちであると思う。リストやその処理方法についてのマニュアル、各家庭へ配布できるチ</p>

ラシ等があれば良いと思う
どこまでを医療廃棄物として考えているのか不明確なので記入しづらかった。例えば、採血のオーダーがでた時、Drの指示がでた時、血液のついた綿花をどうするか？アンプルなどは自宅で捨てるときもあるが、指示を出したDrの診療所の方針で全てを回収してくれるところと、針先だけカットして持ってきてほしいとか、さまざまなので全てを持参させて、その医院で処理を依頼している。インシュリンの針など廃棄物をもっていきたくない利用者が刺せなくなるまで同じ針を使っていたことがあり、考えさせられる事があった。又、空き瓶やケースが自宅にないため、日頃より容器をストックしておくのも少し面倒である。
とにかく在宅での事故が起きないようにすることを念頭において実施する
取り扱いが市町村によって異なるようです。はっきりとしたマニュアルがほしいですね
取り扱いについて行政のマニュアルがあるが、なかなか周知されていない状況があると思う。
取扱いについては本来指示している医師がすべて管理処理する責任があると思う
とり扱う件数が多くないので、個別に指導・対応をその時、その場で実施している。基本的には普通に扱える程度の物が出る範囲が在宅で可能な範囲だと思う
名古屋市の基準に沿って利用者に指導。利用者が母体の関連するところが主治医だと気兼ねがないが、違う人は矛盾を感じながらサービスしている。
名古屋市は訪問看護における在宅医療廃棄物の安全処理マニュアルがありそれに沿って行っている。針以外はほとんど家庭の分別ゴミで処理できるようになっているので、回収自体も簡単です。ただ家庭によってやり方はまちまちなので全てかかりつけ病院に返却している場合もあります。
何をもって医療廃棄物とするのかがこのアンケートの内容で疑問だった。針以外の医療廃棄物ってどんなものですか？札幌市の取り決めのもの一緒に入れますので参考にしてください。各自治体の考え方でしょかね。またこのようなことがきちんと全国システム化されるといいです。
何度も指導しないと記憶に残らない方が多い（高齢者）。血液が付着していても清潔観念の違いか汚物、感染性という認識がうすい方がいて指導の難しさを感じる。感染物の処理法などステーションにおまかせにしているように思われる。母体に病院がない当社などは困惑することが多かった。

日本医師会作成 在宅医療廃棄物の適正な処理に関するガイドブックを基に運用している
入院中であれば病院で、そうでなければ在宅医からも医療廃棄物についての分別、取扱い、回収についてきちんと説明してほしい。訪問看護でも説明は指導させて頂くが、市町村又は在宅医、病院別でも若干の違いがあるため。
尿道カテーテル類などは、場合によってはオムツと同じ扱いで在宅からの一般ゴミと一緒に処理できないものか？以前保健所に問い合わせ相談したが返答はなかった。
廃棄物処理法について学習する機会があり不明点があり自治体へ問い合わせた事があるが、「訪問看護ステーション」や「在宅ケア」に対する認識や取り組みが進んでいない様にしたことがある。訪問看護ステーションでは主治医から指示されケア後の廃棄物は基本的には指示した医療機関へ返却しているがまれに処分に困るものが発生する。量にすると一年に一回回収程度であるがそれに対応してくれる回収業者の選定に手間どっています
廃棄物取り扱いについて、家族教育が必要
廃棄物取扱いについては在宅ドクターによっても違っているように思う
廃棄量の少ない訪看ステーションには、ある程度、廃棄物を置いとかなければならず、臭い不衛生が問題
早くマニュアルがあるとよい。現在どこまでが廃棄物になるのかが不明確とも思われる。
針・アンプルは、それを出した医療機関が引き取ってほしい。危険のない医療廃棄物、尿バック・点滴の袋等は、家庭ゴミで捨てさせてほしい（オムツはOKなのだから）
針刺し時のマニュアル等が作成できていない。作成するにあたって参考になるものがあれば良いと考えている
針類以外はそのケースに応じて先生、地域のゴミ処理担当の方などと確認して行っていますが感染拡大、事故防止を踏まえて全て回収すると大変。回収のほうで感染事故を起こさない配慮は大切だと思う。
バルンやウロバッグは感染症がなければ家庭ごみと一緒に出していただいてもよいのではないのでしょうか。尿、便汚染のおしめはゴミとして出しているのです。物品をいただいている先生のところへはなかなか持っていけないし。そうするとステーションで処分するとこちら側にコストがかかってくるのはどうかと思います。
廃棄物を法人へもって帰るのも困るし、業者委託し処理してもらいたいです
病医院で統一した廃棄物容器を作ってほしい。現状はガラスビン（ジャムなどの空き瓶）などを使っているため密用性に難がある。在宅での医療廃棄物の指針が

ほしい（各施設でバラバラ）
病院からの退院時、廃棄方法について指導を受けていない事がある
病院等が処方したインスリン針などを（使用ゴミ）次回受診時返却するならばバック（専用）を準備したほうが良い（感染リスク・安全面からも）
病院等へ持参する場合の時間、手間の負担がある。ステーションで処理する経費負担、臭い、職員の針刺し自己の処理の問題がある（すぐに受診できないなど）
病院とは違い、在宅ではおむつや創のドレッシング剤をゴミとして扱い地域で処理しているの、ごみ回収業者さんが危なくないように新聞紙ビニールでくるむなど注意して指導している。往診で点滴をした場合など、家族が処理法を聞いていないので気づいた時点で怪我がないように指導し処理を行っている。私たちの利用者で病院・診療所から回収容器を渡されているのはひとつの医療機関だけである。
病院内における医療廃棄物の分別は理解出来ているが、「在宅」となると、どのようなものが、どのように処理が必要なのか、情報としてあれば、それを元に自分たちでマニュアル等作成出来ると思います
病院併設であり共に行っている
病院や開業医での処理方法がマチマチであり在宅療養生活が増える一方、病院先が遠方の場合利用者が持参する事になったりするので在宅での処理方法が徹底された方が良くと思います。
病院を退院後医療廃棄物に対して患者様は雑に考えています。訪問時インスリンの針をそのままゴミ箱に入れる行為があったりしてます。指導すると「そんな事退院時に言われなかった」と話された人もありました。特に認知症の方の取り扱い（注射針）はとても重要だと思います。
普通ゴミでも各自治体が異なるように、各診療所、病院でも異なる事も多い。当ステーションでは…と前置きを説明するのですがガイドラインをしっかりと提示していったら。
プラスチック容器（ペットボトル）に使用済みの針を詰め込み、容器を破って針の先端が突き出し、針穿し事故が発生した事例あり。ピンを使用したほうが良いと思われる。
訪問看護が回収し処理できると良いが（安心）、事務所のスペースの問題や立地条件の関係で回収出来ない
訪問看護師への感染防止、危険防止に重点
訪問看護ステーション内には廃棄場所がなく、ある程度溜まってから近くにある同法人の診療所に持って行き廃棄しています。本来でしたらステーションに置かずすぐ処理できればと考えていますが実行に至っていません。

<p>訪問看護ステーションの保険収入は限られており、なんとか管理料は算定できません。ステーションが医療廃棄物回収のコストを負担することなど考えられません。主治医が負担するのが道理ではないでしょうか</p>
<p>訪問看護では大きい廃棄物はない。針・注射器等は主治医へ返している。ガーゼ等は焼却。MRSA・等のガウンは専門袋に持ち帰り専用の洗濯機で洗う</p>
<p>訪問看護については在宅主治医の病院で回収処理していただけるとよいと思います。</p>
<p>訪問看護を利用している方でも、その訪問看護の事業所自体が廃棄物処理をしていない場合、訪問看護でそれを処理することは出来ず、医療指示をだすドクターの元で処理してもらうしかありませんが、ドクターの中には理解の乏しい方もおり、訪問看護側へ処理依頼することもあります。当ステーションは母体が医療法人なので恵まれておりますが、苦勞されているステーションは多くあると思います。保健所への持込み（家族なども出来る）又は自治体独自の回収BOXがあるとよいと思います。</p>
<p>訪問先が母体経営の有料老人ホームが多いため参考にならないかもしれません。</p>
<p>訪問時看護師が行った注射、採血などの注射器などは持ち帰っている。在宅で患者さんが使用した血糖測定用の針も看護師がステーションへ持ち帰り専用プラスチック容器に捨てている。浸出液で汚染されたラップ、オムツ、ガーゼなどに該当するのであればオムツと一緒に家庭ごみと一緒に捨てている</p>
<p>訪問時に適切な指導をすればその様に出来ると思われれます。現在は細々した分別は在宅から引き取った後で事務所でしています</p>
<p>訪問する市町村によって取り扱いや考え方が違うので困ります。考え方や取り扱いを統一してほしい。*①については業者も一緒に市に説明をしてくれました</p>
<p>訪問リハビリが主体なので、医療廃棄物が出ない</p>
<p>母体が精神科の病院なので、過去には医療廃棄物もありましたが現在は少ないです</p>
<p>母体に持参しているが母体の認識が我々と差がある場合がある。何でもかんでも持ってくるのか？自分達で処理しないのか？と不満をぶつける母体のスタッフもいる。訪問看護の理解が浸透していない為か。</p>
<p>母体の医療機関がないので（他県が本部）各医療機関（D I Vの指示など出された）に各利用者の廃棄物を処理依頼するので、費用はかかりません。とくにトラブルもなく受入れて頂いております</p>
<p>母体の病院があるので特に困難に思ったことはないが単独で行うとなると大変だと思う。現在は個々のステーションでの処理だと思うが統一されたマニュアルや支援があればよいと思う。</p>

<p>母体病院があるので医療廃棄物については病院に依存しているので処理費用や業者の関係のことは解からない。設問がとても大きくて答えに困りました。</p>
<p>ほとんどのものは主治医の病院へ返却するので ST 内で処理する量は少ない。そのためいつまでも廃棄物が ST 内に残っている（BOX がいっぱいにならないため）現状もあり費用面や処理面でもう少し安全確実にできないかが常に課題である</p>
<p>前もって点滴等わかっているときは処理の仕方がわかるが、思いがけず点滴が始まったりした時が処理の仕方に困ったりする。</p>
<p>マニュアルがあれば欲しい。</p>
<p>マニュアルがあれば欲しい。</p>
<p>マニュアル基準が訪問看護では必要だと思います。大きい病院と小さい病院では取り扱いが違うので、困ることがありますが、せめて針・ルート・シリンジの処理先は基準化し周知徹底を早急に行って頂けると助かります。</p>
<p>薬剤容器（点滴ボトル）他薬剤付着廃棄物や針などについては病院・業者対応等が必要であるが、血液付着や尿汚染のガーゼ・ウパック等に関しては通常の家庭においても、怪我やオムツなどの廃棄物があるので、神経質になりすぎなくても良いと思う。（ことさら在宅医療しているからというのはいかが）市町村によって対応がことなるので廃棄方法について行政がパンフを配布すればよいと思う（市町村ごとでも）</p>
<p>薬局が回収しているケースもある、ステーションで関与しないケースもある。うちのステーションは終末期が多く量が多いので処理業者をお願いしています。名古屋の訪問看護の中で医療法人が母体のところは、法人の病院に回収を依頼しています。</p>
<p>輸液やインシュリン注射後の針や感染性が考えられる廃棄物については医療者が責任を持って回収、処理する必要があると思います。</p>
<p>容器いっぱいになる迄待つてふたをして回収してもらっていますが、それまでふたを密封できず、臭いがもれてくる。</p>
<p>利用者、介護者が高齢である場合、指導事項が正しく理解されていない事が多く危険を感じる</p>
<p>利用者宅からステーションに持ち帰った廃棄物を何日分かまとめて医療機関に持参している。ステーションにたまりすぎるときがある。（その都度医療機関に持参するのが時間等のロスがあるため）こまめに返すようにしたい。複数の医療機関にかかっていると廃棄物が混同することもある。</p>
<p>利用者に渡せるパンフレットがほしい</p>
<p>私達ステーションは、母体が病院なので医療廃棄物に対してはあまり困らないが、他のステーションなどはどのようにされているのか、主治医へ返却していないの</p>

か知りたいです。結果を報告いただければうれしいです。

医療廃棄物処理費用の負担は利用者宅できいたことはないが、もしも利用者側で負担をする場合にはかなりの金銭的な負担がかかり在宅での医療そのものを疑問に思われる人もでてくるのでは？在宅医療は細やかな支出が多く病院での療養よりも金銭的な負担がかかる場合がある。療養先の病院側の医療廃棄物の取り扱い指導等も大きい役割があるものと思います。また、自治体で回収する場合、住民が個別に袋を（自治体の）購入するなどしてゴミを捨てるのにお金をかけている場合があり、かさばるものに関しては負担は大きいです。

在宅での廃棄物の主なものは、点滴ボトルセット・針。これは必ず主治医へ持参するか主治医来訪時手渡す。医院への指導で収納ボックスも共に渡すと撤廃してもらえると嬉しい。在宅専門ドクターは大きいポリ容器持参で来られる。しかしそれはおいて置くし、大きいので汚いし臭い。密封をしたら開かない為短所がある。（ある程度たまらないと捨てれない）バルカテールや腹膜透析のビニールチューブ関係は、業者がひきとるか、何かよい方法があれば良いと思う。高齢の方の処理は大変である。かと言って放置してあり、訪問時処理だと衛生上問題

点滴等の物品は回収して病院等に持参しているが、その都度持参することは困難で、何回分かを集め持参している。ステーション内でストックする場所に困る。バルカテール等まで病院に持参できない。ビニール袋に何重にもくるんで自施設の回収業者に普通ゴミとして出している。他のステーションではどうしているのか、マニュアル等があれば教えてほしい。ステーション独自で処理業者と契約するにはコストがかかりすぎる

当ステーションでの廃棄物の取り扱いは、基本的に家にあるものは家におき、ステーションで看護師が持参したものは持ち帰ることにしています。例えば家族が外来受診をして病院から受け取った注射器や針は家族が病院にかえず、緊急時に医師から点滴などの指示があったときは、ステーションから医師の場所へ行き、物品を受け取り、終了したら医師にもっていきます。家族が直接病院とやりとりする場合は廃棄の指導は病院で行ってくれますが、実際、訪問の場面では、キケンな場合もあり、確認と再指導が必要です。ステーションで廃棄する場合は、持ち運ぶ時にキケンなのですが、実際は廃棄 Box などは持ち運びに不便なので、ビン（コーヒーの空きビンなど）や、タッパーなどで代用し指示のあった医師の病院や母体の医療機関に依頼をしています。